

山口大学卒後臨床研修 ガイドブック

世界に
通ずる良医、
優れた研究者を
育てる！

臨床研修の理念

山口から世界に羽ばたけ !!

医療・医学分野を牽引する未来のリーダーとなる医師を育成する

臨床研修の目標

プライマリ・ケアから専門医療までの幅広い経験を通じて、豊かな人間性を涵養し、以下の能力を身につけた医師を育成します

- 1 医師としてのプロフェッショナリズム
- 2 医師としての基本的な知識・技能と医学・医療問題への対応能力
- 3 総合的に診療する実践力とチーム医療における安全管理能力
- 4 国際的視野と地域社会への医療貢献
- 5 患者家族や他の医療従事者とのコミュニケーション能力とチーム医療の実践力
- 6 論理的思考力と研究マインド
- 7 生涯にわたって自己研鑽し共に学ぶ姿勢

大学病院？

市中病院？

山口大学なら両方で研修できます！

山口大学の卒後臨床研修は最大52週（12ヶ月）院外研修が可能です。
大学病院の先進的医療の経験と地域の医療機関での診療の両方をバランス良く経験することで、
実力を持った臨床医に成長できます。

大学病院での研修

難易度の高い症例を深く学べます

各専門領域に経験豊富な指導医がいる
治療方針の立て方を学べる
プレゼンテーションスキルがアップできる
先端医療や研究に展開できる
視野の広い臨床推論を学べる

市中病院での研修

一般的な疾患を多く学べます

common diseaseを数多く経験できる
手技を実践的に学べる
1次救急を学べる
23の協力病院から選択できる

専門研修にスムーズに移行できます！



山口大学卒後臨床研修プログラムの特徴

1

自分に最適な
オリジナルの研修
プログラムが作れます。

- 将来のキャリアを見据え、各自の希望に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成できます。
- 県内の主要な病院と連携しているので、一般診療から専門性の高い診療まで、多様な研修に対応できます。
- 複数の協力病院を組み合わせ、幅広い研修をコーディネートできます。

2

協力病院との
たすき掛け研修で
バランスよく学べます。

- 大学病院では難治症例を、協力病院ではcommon diseaseをバランスよく経験できます。
- 1次救急から3次救急まで対応できる力がつきます。
- 大学病院では一つ一つの症例を丁寧にみることで、病気の本質を学べます。

3

熱心な指導医による
きめ細かい研修指導が
受けられます。

- 170名以上の教育熱心な指導医がいます。
- 毎月、専任教員が研修の進捗度をチェックして、アドバイスをします。
- 学会をはじめ、CPC（臨床病理検討会）など発表の機会が豊富にあるので、プレゼン力が身につきます。

4

研修医向けレクチャーや
カンファレンスが
行われています。

- 研修開始時に基本手技の習得のためのトレーニングを行います。
- 毎週、各分野のエキスパートが研修医のためにレクチャーを行っています。
- 症例検討カンファレンスで、偏りのない標準的な診断や治療方針決定までのプロセスなどを学べます。

5

充実した研修が
受けられる環境が
整備されています。

- 研修医のための専用施設、地域医療教育研修センター（白翔館）に安い費用で入居できます。
- 医学部図書館と提携したオンラインジャーナルを学内LANを通じて常時閲覧でき、最新の医学情報を収集しやすい環境です。
- 様々なシミュレーターが設置されている、クリニカルスキルアップセンターを利用できます。

自分の研修は自分で決める！

ローテーションの自由度が魅力です

POINT
1

自分の成長と希望進路に合わせた研修プランを1年ごとに作ります。

POINT
2

院内研修での診療科の変更は、1ヶ月前まで可能です。

POINT
3

最大52週(12ヶ月)、協力型臨床研修病院でのたすき掛け研修が可能です。

研修スケジュールをどのように設定するかは、思うがまま！

研修期間2年＝104週をどのように設定するか？ 組み合わせは自由です。

これらは必須！ 8科・分野(計56週以上)

内科	救急	地域医療	外科	小児科	産科 婦人科	精神科	外来
24週	12週	4週	4週	4週	4週	4週	4週

1. 将来の希望科を選ぶ

例えば小児科で全て設定することも可能

2. いろいろな科を回る

外科・放射線・麻酔・病理…あらゆる科を回ることも可能

3. 協力病院で研修する

プライマリ・ケアを学ぶなど協力病院での研修に活用も可能

				選択科目	44週(最大48週)				
--	--	--	--	------	------------	--	--	--	--

2年間の臨床研修は 必修科 選択科 から構成されます。

必修科	● 内科*	24週	● 小児科	4週以上	選択科	● 皮膚科	● 放射線治療科
	● 救急(麻酔科4週含む)**	12週	● 産科婦人科	4週以上		● 眼科	● 病理診断科
	● 地域医療	4週以上	● 精神科	4週以上		● 耳鼻咽喉科	
	● 外科**	4週以上	● 外来研修	4週以上		● 放射線科	

を含む全ての診療科

* 内科：第一内科(消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科)、第二内科(循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科)、第三内科(血液内科、糖尿病・内分泌内科)、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部
** 外科：第一外科(心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科)、第二外科(消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科)、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科
*** 救急：麻酔科4週間を含むことが可能

＜原則＞

- 必修科の地域医療は2年目に研修すること
- 2年間のうち、52週(12ヶ月)以上を山口大学医学部附属病院で研修すること(例：本院48週、地域医療4週、協力病院52週)
※地域医療研修(4～8週)は山口大学医学部附属病院の研修期間となります。
- 内科(必修科及び選択科)の期間の内訳については、8週以上、複数科での組み合わせも可能です。
- 必修科を含む全ての研修は4週間を1区切りとし、8週間以上の研修が可能です。

外来研修について

一般外来研修では、指導医のもと研修医が診察医として適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決できるように研修を行います。
研修方法は外来研修を毎日終日行うブロック研修と、診療科等をローテーションしながら行う並行研修があり、4週の経験が必修となっています。研修施設や期間については希望に合わせて自由にコーディネートできます。

ブロック研修例 臨床教育センターや総合診療部、協力施設等で研修します。

1年目	内科 24週	救急 12週	外科 4週	小児科 4週	産科婦人科 4週	精神科 4週
2年目	選択科 4週	地域医療 4週	外来 4週	選択科 40週		

並行研修例 地域医療研修と並行して外来研修をします。臨床教育センターや協力施設等での並行研修も可能です。

1年目	内科 24週	救急 12週	外科 4週	小児科 4週	産科婦人科 4週	精神科 4週
2年目	選択科 8週	地域医療 8週 外来	選択科 36週			

臨床教育センターでの研修

詳しくはこちら
<http://cec.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>



“プライマリ・ケア研修に適したフィールド”で
“大学教員による質の高い指導”を。

臨床教育センターは、大学病院では経験する機会の少ないプライマリ・ケアや1・2次救急症例をより幅広く、より豊富に研修できるように、本院からほど近い宇部興産中央病院に開設されました。
ここでは、大学教員を中心とした教育熱心な指導医からエビデンスに基づいた知識や高度な技術を吸収することができます。
研修を終えた時には、レベルの高い診療能力が身につけていることを実感できるはずです。

山口大学医学部附属病院臨床教育センターの特徴

- 1 大学教員のもとでのプライマリ・ケア研修
- センター専任教員を始め、宇部興産中央病院の指導医や専攻医と一緒にチームの一員として一般内科や総合診療科、救急外来診療、病棟診療を行います。
 - 市中病院では日常診療が多忙で、症例の振り返りが疎かになりがちですが、ここでは熱心な指導医からしっかりとフィードバックを受けることができます。
 - 指導医との距離も近く、ふとした疑問もすぐに質問し、解決することができます。
- 2 プライマリ・ケアのフィールドでの外来研修
- 外来研修では生活習慣病や気管支喘息、COPDなどのcommon diseaseの診療ができます。
 - 発熱、腹痛、痺れなどの主要な症状をもった患者さんの初診外来を指導医と一緒に診察し、フィードバックをもらえる環境が整っています。
- 3 充実した教育環境・整備された学習空間
- センターには山口大学のLAN設備が整備され、また研修医向けの医学書や参考書が数多く揃えられ、知りたいこと、学びたいことをすぐに調べることができます。
 - 電子カルテだけでなく学習用大型モニター、共用テーブル、個人用デスク、リラックス出来るソファ等が設置され、一人での学習はもちろん、グループ学習や勉強会でも活用できます。



山口大学卒後臨床研修プログラム

希望進路別推奨コース例

大学病院だからできる
自由度の高いローテートで
自分の目標に向かってスキルアップしよう！



全方向型自由設計コース

診療科の種類・期間を希望に合わせて設計できます。
自由度が高く、自分の進路に合わせた専門的な研修をメインにすることも、複数の診療科を数多く選択することもできます。

内科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	救急 12週	産科婦人科 4週	外科 4週	小児科 4週	精神科 4週
2 年目	内科D 8週	地域医療 4週	外来 4週	総合診療部 8週	放射線科 4週	内科E 8週	内科A 16週	

- 全ての内科系診療科を経験することで、内科医に必要な考え方、診断法、治療方針の立て方を学び、基礎を固めます。
- 総合診療部では臨床教育センターで1・2次救急から専門性の高い疾患まで幅広く学びます。
- 内科診療に必要な画像読影、精神疾患、総合的対応能力、基本的外科処置、小児疾患対応を学びます。
- 内科専門医や内科系サブスペシャルティ専門医の資格取得のための準備をしながら学んでいきます。

外科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	外科 8週	産科婦人科 4週	救急 12週	小児科 4週
2 年目	精神科 4週	地域医療 4週	外来 4週	麻酔科 12週	外科 28週		

- 内科系診療科を経験することで、病態の理解を深め、外科医にも必要な考え方、診断法、治療方針の立て方を学びます。
- 術前・術後の管理を含めた外科診療に必要な精神科領域の対応の仕方を学びます。
- 麻酔の知識を持った上で専門科へ進むことで、よりスムーズな理解、研修が可能です。

・内科： 第一内科（消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）、第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科）、
第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部
・外科： 第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、
第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科
・救急研修は麻酔科4週間を含むことが可能。

小児科・産科婦人科・周産期コース

将来、小児科や産科婦人科を希望する人が対象です。32週以上を小児科又は産科婦人科で研修します（両方合わせて研修も可能）。
専門性の高い研修により、小児科・産科婦人科領域のキャリアを早く開始できます。

※必修科は、全方向型自由設計コースと同じです。

小児科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	救急 12週	内科C 8週	精神科 4週	外科 4週	小児科 8週
2 年目	小児科 4週	地域医療 4週	外来 4週	産科婦人科 4週	小児科 36週		

- 本コースを通じて、小児救急をはじめ、様々な専門領域の小児科疾患を経験できます。
- 将来、新生児集中治療を希望する方は、必修科に加えて選択科で産婦人科を選択するのも良いでしょう。
- 子供の成長・発達を理解し、子供と家族に対する基本的態度、適切な臨床技能を身につけます。

産婦人科医を目指す方のモデルコース

1 年目	産科婦人科 12週	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	救急 12週	外科 4週
2 年目	小児科 12週	地域医療 4週	外来 4週	精神科 4週	産科婦人科 28週	

- 産婦人科医に求められる技能は周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性のヘルスケア（更年期やウロギネコロジー領域を含む婦人科プライマリ・ケア）の4領域にわたります。
- 本コースでは、これらの領域の基礎的診療技術を研修早期から学べるよう計画を立てます。
- 小児科研修ではNICU研修も含まれます。

・内科： 第一内科（消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）、第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科）、
第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部
・外科： 第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、
第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科
・救急研修は麻酔科4週間を含むことが可能。

協力型臨床研修病院

県内外の地域基幹病院が協力病院になっています。
たすき掛け研修を組むことで、
多様な疾患を幅広く経験することが可能です。
また、複数の病院を選択することができますので、
特に勉強したい内容を短期間選択して
研修することも可能です。

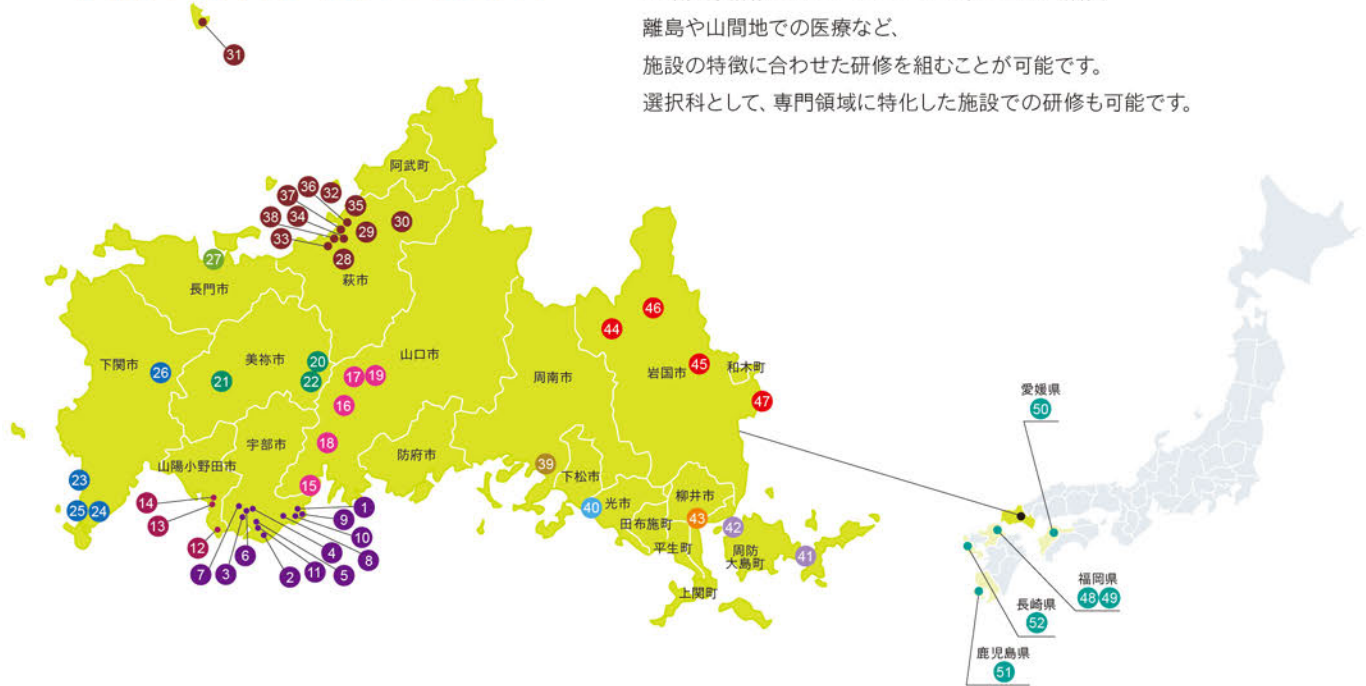


地図 番号	病 院 名 称	所在地	研修可能分野								
			内科	救急	地域医療	外科	小児科	産科 婦人科	精神科	麻酔科	選択科
①	宇部興産中央病院	宇部市	◆	◆		◆				◆	◆
②	山口宇部医療センター	宇部市	◆			◆	◆		◆		◆
③	山口労災病院	山陽小野田市	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
④	済生会山口総合病院	山口市	◆	◆		◆		◆		◆	◆
⑤	小郡第一総合病院	山口市	◆			◆	◆			◆	◆
⑥	山口赤十字病院	山口市	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑦	関門医療センター	下関市	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
⑧	下関市立市民病院	下関市	◆	◆		◆				◆	◆
⑨	済生会下関総合病院	下関市	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑩	下関医療センター	下関市	◆	◆		◆				◆	◆
⑪	済生会豊浦病院	下関市	◆				◆				◆
⑫	山口県立総合医療センター	防府市	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
⑬	徳山中央病院	周南市	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑭	周東総合病院	柳井市	◆			◆	◆	◆		◆	◆
⑮	岩国医療センター	岩国市	◆			◆					◆
⑯	萩市民病院	萩市	◆			◆					◆
⑰	長門総合病院	長門市			◆	◆		◆			◆
⑱	浜田医療センター	島根県	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑲	益田赤十字病院	島根県	◆			◆		◆			◆
⑳	愛媛労災病院	愛媛県	◆			◆		◆			◆
㉑	健和会大手町病院	福岡県	◆	◆		◆		◆		◆	◆
㉒	小倉記念病院	福岡県	◆	◆		◆				◆	◆
㉓	ハートライフ病院	沖縄県	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆

※県外の施設は事前に相談が必要です。

臨床研修協力施設

県内を中心に多数の協力施設があり、
地域医療研修はプライマリ・ケアを中心とした研修、
離島や山間地での医療など、
施設の特徴に合わせた研修を組むことが可能です。
選択科として、専門領域に特化した施設での研修も可能です。



地図 番号	施設名称	所在地	研 修 分 野
①	山口県立こころの医療センター	宇部市	精神科
②	宇部協立病院	宇部市	地域医療
③	宇部記念病院	宇部市	地域医療
④	フジイ内科医院	宇部市	外来
⑤	わただ内科	宇部市	地域医療
⑥	ふくたクリニック	宇部市	地域医療
⑦	厚南セントヒル病院	宇部市	地域医療
⑧	セントヒル病院	宇部市	地域医療
⑨	シーサイド病院	宇部市	地域医療
⑩	波乗りクリニック	宇部市	総合診療
⑪	尾中病院	宇部市	地域医療
⑫	小野田赤十字病院	山陽小野田市	地域医療、外来
⑬	山陽小野田市民病院	山陽小野田市	外来
⑭	生協小野田診療所	山陽小野田市	地域医療
⑮	阿知須共立病院	山口市	地域医療、外来
⑯	あんの循環器内科	山口市	地域医療
⑰	済生会山口地域ケアセンター	山口市	選択科
⑱	小郡まきはら病院	山口市	精神科
⑲	山口県赤十字血液センター	山口市	選択科
㉒	美祢市立美東病院	美祢市	地域医療
㉑	美祢市立病院	美祢市	地域医療
㉒	田代台病院	美祢市	精神科
㉓	下関病院	下関市	精神科
㉔	下関市立下関保健所	下関市	選択科
㉕	吉水内科	下関市	地域医療
㉖	下関市立豊田中央病院	下関市	地域医療

※研修協力施設、研修分野は変更になる場合があります。

地図 番号	施設名称	所在地	研 修 分 野
㉗	岡田病院	長門市	地域医療
㉘	萩市国民健康保険川上診療所	萩市	地域医療
㉙	萩市国民健康保険福川診療所	萩市	地域医療
㉚	萩市国民健康保険むつみ診療所	萩市	地域医療
㉛	萩市国民健康保険見島診療所	萩市	地域医療
㉜	萩市国民健康保険大島診療所	萩市	地域医療
㉝	都志見病院	萩市	地域医療、外科
㉞	中嶋クリニック	萩市	地域医療
㉟	河野医院	萩市	地域医療
㊱	山本内科胃腸科	萩市	地域医療
㊲	わためきクリニック	萩市	地域医療
㊳	さがら眼科クリニック	萩市	地域医療
㊴	泉原病院	周南市	精神科
㊵	光市立光総合病院	光市	外来
㊶	周防大島町立東和病院	周防大島町	地域医療
㊷	周防大島町立大島病院	周防大島町	地域医療
㊸	柳井病院	柳井市	精神科
㊹	岩国市立錦中央病院	岩国市	地域医療
㊺	岩国市立美和病院	岩国市	地域医療
㊻	岩国市立本郷診療所	岩国市	地域医療
㊼	いしいケア・クリニック	岩国市	地域医療
㊽	北九州市立医療センター	福岡県	選択科
㊾	北九州総合病院	福岡県	選択科
㊿	愛媛県西条保健所	愛媛県	選択科
㊿	薩摩川内市下甕手打診療所	鹿児島県	地域医療
㊿	長崎県杵岐病院	長崎県	地域医療、外来

多彩な教育セミナー

基本的手技を修得し、幅広い知識を得られるよう様々なセミナーを開催しています。クリニカルスキルアップセンターにあるシミュレーターや医療機器を用いて、実践的なトレーニングができるだけでなく、各診療科でも研修医向けの教育カンファレンス、画像読影会、抄読会等が開催され、研修医による症例発表の機会も多くあります。



ICLS講習会 (心肺蘇生トレーニングコース)

突然の心肺停止などの事態に対処できる能力を身につけます。講習修了後は日本救急医学会認定の修了証が発行されます。研修医は受講が義務付けられています。



オリエンテーション

研修開始時に病院勤務に必要な基本的な事項を学びます。電子カルテの使い方、採血、注射の仕方、ルート確保の方法など、基本的手技の実習があります。



研修医木曜セミナー

毎週木曜の昼休みに開催している研修医向けのレクチャーです。基本的な医学知識から最新の医療事情まで、多岐にわたる内容で、大学教授を含む多くの指導医陣に加え、他職種の講師も迎え、多彩なレクチャーを行っています。



CPC (臨床病理検討会)

剖検症例を詳細に検討して発表します。臨床経過を十分に検討し、問題点、疑問点を剖検結果と照らし合わせて総括します。ゲスト講師を迎えることもあり、活発な議論が展開されます。

様々なイベント



辞令交付式



キャリアナビゲーション



WCC
(Wound Closure
Contest)



修了式

地域医療研修
発表会

密着

研修医の1日

研修医の1日の流れをご紹介します。



8:00



出勤

白翔館（研修医専用施設）から病院までは徒歩3分です。

9:00



昼食

12:00



外来処置

先生方に指導していただきながら、外来患者さんの処置を行います。

13:00



手術

皮膚腫瘍切除の手術に助手として参加しました。先生方の手技を見て、日々勉強しています。

16:30



教授回診



カンファレンス

皮膚疾患の病理所見について、週に1回カンファレンスで発表します。

18:00



皮膚科研修

2年目研修医 山下 裕宇希

私は、たすき掛け研修のプログラムを利用し、1年次は市中病院で、2年次は大学病院での研修を選択しました。市中病院ではcommon diseaseを含めた多くの症例を、大学病院では専門性の高い症例を経験させていただいています。休憩時間も、同期と話したり楽しく過ごしています。

帰宅

19:00

研修を始める前に

ココが知りたい!

本学プログラムの研修医に本音を聞いてみました。



Q

山口大学のおすすめポイントは?

A

- たすき掛け研修で複数の病院で研修できる
- 研修病院、診療科、時期を自分で自由に決められる
- 1つ1つの疾患をじっくり勉強できる
- カンファレンスを通じてプレゼン力を高められる



Q

選んだ決め手は?

A

- たすき掛け研修で大学病院と市中病院の両方で学ぶことができるから
- ローテーションを自分の希望に合わせて柔軟に変更できるから
- 1年目でもマイナー科の研修を選択できるから
- common diseaseから難治疾患まで幅広く学べるから
- 専門研修など将来のキャリアを見据えて



Q

実際の研修は?

A

- 手技も思った以上に経験させてもらえる
- 指導がしっかりしていて、カンファレンスの練習などもできる
- 大学では市中病院だと扱わないようなデバイス、重症患者さんを担当することができる
- 様々な症例に出会うことができ、日々勉強になる



Q

研修の思い出を教えて!

A

- 同期同士、和気あいあいとした雰囲気毎日楽しい
- 憧れのドクヘリに乗るために救急での研修を頑張った。やりがいがあるものすごくあった。
- 不安だらけで臨んだ手術、なぜそうなのかを細かくレクチャーされながらとても勉強になった
- 思い切って指導医に意見してみた。否定されるかとドキドキしたが「よく調べている」と褒められ嬉しかった。



本学プログラム 修了生の声



全方向型自由設計コース

令和3年度修了生 山本 花奈子

山口大学を選んだ理由

たすき掛けにより、大学病院と市中病院の両方で研修を行うことができる点や、研修を行う診療科や期間を比較的自由に選択できる点に魅力を感じました。

初期研修を終えて

複数の病院で研修を行うことができ、また、希望に応じて研修する診療科を変更することができ、充実した研修を行うことができました。

医学生へのメッセージ

希望に沿って自由度高く研修プログラムを設計することができるため、将来進む診療科が決まっている方にも決まっていない方にもおすすめです。みなさんが充実した研修を行えるよう応援しています。



小児科・産科婦人科・周産期コース

令和2年度修了生 今川 天美

山口大学を選んだ理由

学生のころから産婦人科への入局を決めており、興味のある分野を集中して研修したかったため産婦人科を中心に新生児科での研修もしっかりと期間をとって行える山口大学の周産期コースで研修することになりました。

初期研修を終えて

たすき掛けで市中病院での研修中に救急対応なども勉強することができ、大学病院では研修医の期間にも産婦人科医としての手技を学ぶことができたため、スムーズに3年目からの後期研修に入ることができました。

医学生へのメッセージ

志望科が決まっている学生さんは大学でのたすき掛けの研修は選択肢として考えてみていいのではないかと思います。市中病院では救急対応を中心とした診療を学び、大学病院でより理論的な治療を学ぶことで、より患者さんに寄り添った診療ができるようになるかもしれません。



第一内科（消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）

オンリーワンの消化器内科医を育成する

当科では消化器疾患全般を対象に、高度な専門知識・技術と情熱をもった専門医が診療を行い、消化器領域の最先端の検査・治療の提供のほか、新たな診断法や治療法の研究開発にも力を入れています。

＜研修目標＞

研修期間中は指導医と共に入院患者を受け持ち、診察・診断から治療に至る一連の診療を行います。一般内科医としての基本的な診療技術（病歴聴取、診察、理学所見など）はもちろん、基本的な腹部超音波検査や上部消化管内視鏡検査や、より高度なERCPや腹部血管造影などの手技・診断能力を習得することができ、ひろく専門医資格を取得することができます。このように将来消化器内科医を目指す方から地域医療やプライマリケアなど一般内科医としてのスキルを身につけたい方まで、充実した研修が可能です。

先輩の声



平成31年卒 作田 美穂

消化器内科は多数の臓器の疾患を扱います。内視鏡や超音波など、たくさんの手技を学ぶことができ、幅広く、そして自分の磨きたいものはより専門的に習得することができます。たくさんの方から尊敬できる先生方に熱心な指導をしていただきながら日々成長を感じています。「病態を考えることが好き」、「手技をしたい」、どちらも叶う理想的な診療科だと思います。少しでも興味のある方はぜひ一緒に働きましょう！

1週間のスケジュール

Mon	内視鏡検査・治療 腹部血管造影検査
Tue	消化器診療検査、内視鏡治療、エコー下治療、ERCP 新患カンファ・教授回診 肝臓カンファ
Wed	ERCP 内視鏡検査・治療 ERCPカンファ
Thu	腹部超音波検査 内視鏡検査・治療 消化管カンファ
Fri	腹部超音波検査 内視鏡検査・治療 腹部血管造影検査
指導医や上級医と共に 当直研修を行います。 土日の病棟業務もあります。	

第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科）

豊富な症例で、総合内科医としてのスキルを身につけよう

当科では、循環器疾患、腎臓疾患及び膠原病疾患にわたる幅広い領域において、最新の医療技術を駆使した正確な診断及び高度先進医療の提供を行っています。また、心不全、急性心筋梗塞などの重症疾患に対しては24時間体制で高度救命救急診療を行っています。

＜研修目標＞

循環器疾患、腎臓疾患及び膠原病疾患の典型例や重症例を担当し、超急性期から慢性期の疾患の診断法・治療法を学びます。また、急性冠症候群、重症心不全、難治性不整脈に対する救急医療、高度医療をチームで取り組み、心エコーからRI、CT、MRIまで非侵襲的画像診断を駆使した診断法を体系的に身につけます。

先輩の声

平成29年卒 藤田 美穂

聴診を含めた身体診察や、胸部X線写真、心電図、経胸壁心エコー図検査などを、自信を持って解釈できるようになります。代々温かく、先輩医師に対して優しく手厚く指導して下さる雰囲気や、循環器だけではなく腎臓、膠原病疾患についても恵まれた環境で学ぶことができます。ライフイベントに対しても柔軟に相談に乗って頂いています。たくさんの方から先生方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

1週間のスケジュール

Mon	胸部レントゲンカンファ 不整脈カンファ 心エコーカンファ
Tue	新患カンファ、教授回診 心不全カンファ カテーテルカンファ
Wed	カテーテル検査 負荷RI検査 MDCTカンファ
Thu	カテーテル検査 EPS検査
Fri	カテーテル検査 EPS検査 負荷RI検査
当直は指導医と共に 行うことが可能です。	

第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）

サイエンスとヒューマンティの融合した診療を実践

糖尿病を中心とする内分泌代謝疾患と血液疾患を主に担当しています。糖尿病診療では、個々の病態を深く追求すると同時に多方面から患者さんにアプローチするチーム医療を実践します。血液疾患の診療では、原疾患の治療のみならず、治療に伴う様々な合併症にも対処していくことで全身管理を学ぶことができます。

＜研修目標＞

内科医としての基本的能力を習得することを目的とします。特に、患者や連携する医師との間のコミュニケーションを円滑にするためのノウハウ、プレゼンテーションの技法などを実践的に身につけます。血糖コントロールの基礎、内分泌負荷試験、化学療法、抗菌薬の使用、無菌管理、輸血など他科では習得できない考え方・技術を学ぶことができます。

先輩の声

平成29年卒 淀川 千佳

内分泌代謝疾患と血液疾患の診療を通じて、全身を診る医師となれるよう指導が行われています。チーム制で入院診療を行っており、若手医師と共に学ぶことができます。代謝疾患の管理から抗がん剤、抗菌薬の使い方といった内科の基礎をしっかり習得しませんか？志望科に関わらず、有意義な研修になること間違いなしです！

1週間のスケジュール

Mon	ランチタイムミーティング
Tue	カルテカンファ 教授回診
Wed	移植カンファ
Thu	病棟業務
Fri	糖尿病多職種合同カンファ 血液新患カンファ 内分泌代謝疾患カンファ
当直は指導医と共に 行うことが可能です。	

脳神経内科

一流のneurologistを育てる

当教室では世界に通じる一流のneurologistを育てることを第一の理念としています。それぞれの医師を優れた臨床家、研究者、教育者として第一級レベルの教室に発展できるものと考えています。臨床研修は医師としての基礎をつくる重要な時期であり、内科系医師・神経系に携わる医師すべては、基本的な神経内科的診察・思考方式を身につける必要があると考え、教育を実践しています。

＜研修目標＞

脳神経内科を1～2ヶ月行うことによる目標・ゴールは以下のとおりです。①基本的な神経診察方法を身につけ、正しい神経所見が得られる。②神経診察の結果を正しく解釈し、病変部位を確定し、鑑別診断を列挙できる。③代表的な神経疾患に関する基本的知識を身につける。④髄液検査を単独で行うことができ、検査結果を解釈できる。

呼吸器・感染症内科

診療の基本を身につけよう

当科は、平成27年7月に開設されました。私たちは肺炎・結核などの感染性疾患、喘息・COPDなどの閉塞性肺疾患、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、さらには肺癌をはじめとする腫瘍性疾患肺循環、呼吸不全など広範で多岐にわたる疾患を診療します。

＜研修目標＞

呼吸器領域における高度な医療を提供する礎となる臨床研究や基礎研究を推進します。専門的かつ総合的な診療の指導を行います。集学的治療を行うために関連する診療科と合同カンファレンスを行い、最新で最適な医療を提供します。診断や治療の知識を統合し「体系的に考える力を有する医師」すなわち「総合的な診療能力を有する呼吸器内科医」の育成を目指します。

精神科神経科（精神科神経科・心療内科）

オープン、クリーン、フレッシュな精神科へ

オープン＝科学性を追求し、他科やコメディカルとの連携を密に取り合いながら、開かれた精神科医療を目指します。クリーン＝医師の人間性そのものを診断・治療の根幹と位置づけ、まっすぐ真摯に診療に取り組みます。フレッシュ＝最先端医療を目指す専門医から、地域を元気づける一般精神科医療まで、若い力を育てる研修です。

＜研修目標＞

統合失調症、気分障害、せん妄、認知症、神経症など、幅広い分野に対する基本的な診断、治療技術の習得を目指すとともに、児童精神科医療、アルコール依存などの専門領域への理解を深めます。患者・家族との対話術、生活歴や家族背景などを含めた精神科的アプローチの基本を身につけます。リエゾン診療で他科入院患者さんの様々な心理的問題への介入方法を学びます。



先輩の声

平成29年卒 山中 菜々美

研修医になってまずできるようになりたい事は救急対応だと思っています。かけ離れているように思われるかもしれませんが、脳神経内科は一般身体所見や神経学的所見と病歴を元に鑑別診断を考え、正しいアセスメントをするという点で、救急外来で最も重要な考え方が学べます。また、難しい、治らないと思われていた神経内科のイメージはもう古く、たくさんの方から治療可能な疾患が増えてきています。なんでも相談できえてくれる師匠が多い当科で、実践を通じて論理的な思考力や診察の技術力を学びましょう！

1週間のスケジュール

Mon	病理カンファ 電気生理カンファ
Tue	病棟カンファ、回診 症例検討会 病理カンファ
Wed	病棟業務
Thu	病棟業務
Fri	病棟業務
当直は指導医と共に月3回 行います。希望者は外来研修を 受けることも可能です。	



先輩の声

平成31年卒 山本 佑

当科では身体の主要な構成要素である「肺」という窓を通して、急性慢性問わず感染症、自己免疫疾患、アレルギー疾患（喘息など）やCOPDといった良性疾病から肺癌を中心とした悪性疾患まで幅広い分野を対象に診療を行っています。また近年では間質性肺炎診療に力を入れており、検査・治療だけでなくリハビリやアドバンス・ケア・プランニングなど患者教育を主要な要素に位置づけた短期入院プログラムを2021年度より開始しました。臨床チームを主体とした屋根瓦式の体制のもと、優しくて熱心な指導医との対話や和気あいあいとしたカンファレンスでの議論を通して、自らの成長を実感する毎日を送れること間違いなしです。気管支鏡検査など、手技を行う機会も豊富にあります。設立から7年、まだまだ成長中の当科の仲間として一緒に患者さんを支えていきませんか？呼内にこない？！

1週間のスケジュール

Mon	抄読会、外来補助 病棟診療 気管支鏡検査
Tue	病棟診療 教授回診 新患紹介
Wed	病棟診療、気管支鏡検査 医局会（月に一度） 胸部カンファレンス
Thu	病棟診療
Fri	病棟診療 気管支鏡検査
当直は月3回行います（指導医に相談しながら）。 週に1回の外病院勤務（外来業務）、 週に約2回の救急PHS当番があります。	



先輩の声

平成29年卒 光井 瞳

私は学生時代に精神科のカンファレンスに参加し、「患者さんの人生を見ているみたいだ」と興味を持ち、入局しました。精神科の診察は、まず意識清明か、身体的異常の有無からスタートし、精神症状、問題点、心理社会的な背景などを整理して診断につなげていきます。患者さん自身の環境や性格、多種多様な背景に応じて治療も多様なものになります。この患者さんはどんな方なのだろうと一人一人と向き合いながら、治療していくことは難しくもあり精神科の奥深さ、面白さだと思います。優しくあたたかく、個性的な先生方のご指導のもと、精神科を学ぶ日々はとても楽しいです。ぜひ皆さんと一緒に学んでいきましょう！

1週間のスケジュール

Mon	電気けいれん療法 多職種カンファ 論文抄読会
Tue	リエゾンカンファ/回診 緩和ケア回診 教授回診
Wed	なし
Thu	研究カンファ（月1回） 小グループカンファ
Fri	電気けいれん療法
当直は指導医とともに 行うことが 可能です。 学外研修もあります。	

小児科（小児科・アレルギー科）

すべてのこどものために

小児科は、将来を担うこどもたちを健やかに育む総合的な診療科です。小児科医は、こどもだけでなく、家族も守り、社会をみつめる幅広い視野を持ち、最先端の知識と技術に基づいた診療を提供します。

＜研修目標＞

研修の初期目標は小児一次救急の習得です。指導医のもと血液採取・血管確保・腰椎穿刺などの処置、脳波、超音波などの検査の習得と、児の年齢に応じた特徴の理解と病態による重症度を肌で感じて頂きます。同時に、小児の病歴・理学的所見のとり方・適切な検査・疾患の鑑別などを習得して頂きます。さらに、免疫・アレルギー・感染、血液・腫瘍、神経、循環器、腎、内分泌・代謝、新生児などのサブスペシャルを意識した研修へと発展させていきます。

先輩の
声



小児科学
Pediatrics

りん科
Pediatrics

平成28年卒 元永 貴大

小児科医は未来あるこどもたちの総合医で、新生児から思春期まで、疾患によっては成人になっても携わります。小児科は、こどもたちの成長を見守ることのできる魅力溢れる診療科です。山口大学小児科には8つの診療グループ(アレルギー・免疫・リウマチ班、血液・腫瘍班、神経班、新生児班、腎臓班、内分泌班、消化器班、循環器班)があります。全身を診る総合医の視点を身につけつつ、サブスペシャル領域のスキルを極めることができます。こどもたちとご家族の笑顔のために、一緒に頑張りましょう！

1週間のスケジュール

Mon	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Tue	病棟採血、入院患者診察 外来処置 症例検討・回診、抄読会
Wed	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Thu	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Fri	病棟採血、入院患者診察 外来処置 症例検討
希望者には、当直業務や 夜間・休日診療所出勤などを通じて 小児救急に接してもらいます。	

第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）

卓越した診療、教育、研究により、接するすべての患者のQOLを改善するために

当科では、全ての外科疾患を診療対象としています。診療班(心臓外科・血管外科・消化器外科・呼吸器外科・小児外科)ごとにそれぞれ専門医資格を有した医師達が指導し、診療にあたっています。当科の研修では、広い領域で多くの症例を経験することができます。

＜研修目標＞

手術を受けるために、毎日多くの患者さんが当科を受診されます。担当患者の初診から手術までの流れを把握することは、病態や治療体系を考える上で重要です。手術では、術前の画像診断の結果を確認するとともに、自分の目で臓器を観察し、自分の手で臓器に触れることができます。この経験は、将来CTやエコーを読影する際、病態の把握に必ず役に立ちます。手術時には切開や縫合を、また病棟ではドレナージなどの手技を多く経験できます。これらの基本的な外科手技は、医師として身に付けておくべきものです。

先輩の
声



山口大学大学院医学系研究科
第一外科
Department of Surgery and Clinical Medicine

平成31年卒 縄田 良祐、横山 俊貴

助手や執刀医として手術に関わるのはもちろん、手術適応の有無や術式選択、術後管理をどうするかなど、外科医として必要な考え方も学んでいます。当科には心臓・血管・消化器・呼吸器・小児と様々な分野の専門家がいますので、各班での専門的な研修を行いながら他班の先生と意見交換を行うこともありますし、他班の手術に参加することもできます。多方面から刺激を受ける日々で、毎日が充実した研修を過ごしています。

1週間のスケジュール

Mon	手術症例検討会 教授回診
Tue	手術 英文抄読会
Wed	手術症例検討会 手術
Thu	病棟業務 自主学习
Fri	手術
当直業務の担当はありませんが、 希望があれば指導医と共に 当直は可能です。	

第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）

高度先進医療の推進・開発をになう基盤を築く

当科は、消化器外科と乳腺・内分泌外科領域において、先進医療を推進し、QOL維持を含めた“患者さんにとって満足度の高い”医療を提供しています。そして、外科手術を基軸に治療成績の向上を目的として、専門技術と知識の習得に努め、高度医療を施行し、この地域のみならず国民の医療に貢献することを診療理念としています。

＜研修目標＞

1年目は基本的な診療能力を身に付け、結紮や縫合手技、中心静脈確保、腹腔・胸腔穿刺など基本的な外科手技を習得します。2年目は基本的診療能力向上に加えて、消化器癌や乳癌などの手術助手や周術期管理を行います。急性腹症の診断、初期治療を行い虫垂炎、胆石症、イレウス、ヘルニアなどの良性疾患を執刀医として経験します。Clinical Cadaver Surgical Training (CCST), Surgical Training Seminar (STS)やWound Closure Contest(WCC)にも参加することが可能です。

先輩の
声



平成30年卒 鈴木 有十夢 平成28年卒 西田 裕紀

当科では各臓器別グループに分かれて、主にがん治療に関して専門性の高い治療を行っています。手術に関しては最先端のロボット手術を含め、各領域で低侵襲かつ質の高い手術を提供しています。研修では手術だけでなく初診・カンファレンス・手術・周術期管理の流れを経験できたため、手術対象となる疾患に対して理解が深まり外科の面白さを味わうことができます。また、縫合や結紮に留まらず鼠径ヘルニア修復術や腹腔鏡下胆嚢摘出術などの執刀を経験することができ、外科医として覚悟することができるかもしれません。ベテランから若手まで気さくながら熱心に指導をしてくれるため充実した研修を送ることができます。ぜひ第二外科での研修を検討してみてください。

1週間のスケジュール

Mon	手術 病棟業務
Tue	カンファレンス 外来、検査
Wed	手術 病棟業務
Thu	手術 病棟業務
Fri	カンファレンス 教授回診 外来、検査
当直業務はありません。	

整形外科（整形外科・リウマチ科）

“Life is moving”

整形外科は、人体の運動器官を構成するすべての組織、つまり骨、軟骨、筋、靱帯、神経などの疾病・外傷を対象として、その病態の解明と治療法の開発及び診療を行う専門領域です。小さな子どもから高齢者まで患者数が多く、生活の質が求められる現代社会では、ますますニーズが高まっています。

＜研修目標＞

以下の8項目を目標に行います。①医師として、社会人としての常識を身につけ、実践する。②スタッフと協調して、医師－患者の良好な関係を確立する。③整形外科、リハビリテーション医学の基本的知識と手技を習得する。④医療記録の記載と文書作成法を身につける。⑤自学、自習の習慣を身につけ、問題解決能力を高める。⑥関連領域を回り、幅広いプライマリ・ケアに対応する。⑦患者の早期社会復帰を支援する。⑧医の倫理、哲学、医療経済性や医療法規を考える。

先輩の
声



平成29年度卒 上原 和也

整形外科は老若男女問わず、全身の骨・関節・筋肉に関連する疾患を扱う幅広い領域を持った診療科です。大学病院ではそれぞれの分野に精通した上級医の先生から指導を受けることができ、より専門的で洗練された知識、技術を学ぶことができます。日々の診療での相談や、疑問に感じたことについて、いつでも優しく、熱心に教えていただき、とても充実した日々を送ることができます。万全のサポート体制のもとで、一緒に整形外科医としてがんばりましょう！

1週間のスケジュール

Mon	外傷カンファレンス 外来・手術 脊椎カンファレンス 手外科・骨軟部腫瘍抄読会
Tue	教授回診 リサーチカンファレンス 外来・検査・手術 症例検討会
Wed	関節カンファレンス 外来・手術
Thu	モーニングセミナー 手外科・骨軟部腫瘍カンファレンス 外来・検査・手術
Fri	外来診療
当直業務は指導医と共に 行うことが可能です。	

皮膚科

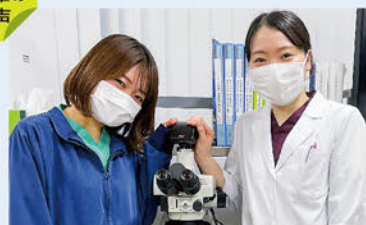
優れた医術を実践できる経験を伴った 叡智を身につけた医療人を育成する

皮膚科疾患は、湿疹・皮膚炎群、水痘症、乾癬、膠原病、母斑症、皮膚悪性腫瘍、熱傷など、きわめて多種多様で、地域医療の拠点として外来・入院はいうまでもなく臨床研修や研究も精力的に行っています。

＜研修目標＞

大学病院ならではの難治性で診断が非常に困難な症例と、皮膚科のいわゆるcommon diseaseを、ともに数多く経験することによって皮膚疾患の実態に触れることを目標とします。様々な鑑別すべき疾患の中から、臨床像と病理組織所見をもとに、正しい診断に至るまでのプロセスを経験します。また、皮膚科的検査及び手術に積極的に参加して、診療技術を習得します。

先輩の
声



平成31年卒 小畑 文佳 平成31年卒 古森 環

チーム制で病棟の担当をしており、診療で困った際にはすぐに上級医に確認することができます。先生方は大変親切で、とても相談しやすい環境であると思います。分からないことだらけですが、色々な皮膚疾患に出会えることに大変面白さを感じています。山口大学皮膚科の一員として、一緒に頑張りましょう！

1週間のスケジュール

Mon	外来 病棟業務 教授回診 カンファレンス
Tue	外来 病棟業務 手術
Wed	外来 病棟業務 手術
Thu	外来 病棟業務 手術
Fri	外来 病棟業務 手術
土日の病棟業務もあります。	

形成外科

ArtとScienceの融合 美しく外科技術を究める

形成外科は、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者のQOLの向上に貢献する外科系の基本診療科です。先天異常や、外傷や腫瘍によるあらゆる体表面の変形・欠損を治療対象とします。整容面においてもより高度な結果が求められる時代になり、その需要は年々高まっています。

＜研修目標＞

手術が主役の診療科です。まず、外科手技の基本とも言える“皮膚をきれいに縫う”訓練をします。外傷の縫合、皮膚良性腫瘍切除術、植皮術などの基本的手技を学んだ後、顔面骨骨折整復術や皮膚悪性腫瘍切除術、各種有茎皮弁による再建術、さらにはマイクロサージャリーによる遊離組織移植など、より高度な技術・知識の習得を指導します。病棟においては創傷管理について学びます。

先輩の
声



平成28年卒 久本 沙和

診療科として独立したばかりで現在4人体制のため症例数、執刀数にとっても多く経験できません。形成外科は皮膚腫瘍や外傷、先天異常、組織欠損に対する再建など幅広い分野に携わる外科系の専門領域であり、臓器別の診療科にはない魅力があると思います。当科に少しでも興味がある方はぜひ一度見学にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	午前： 外来 午後： 局麻手術 カンファレンス
Tue	午前： 外来 午後： 局麻手術
Wed	午前： 外来 午後： 全麻手術
Thu	午前： 外来 午後： 全麻手術
Fri	一日全麻手術
病棟業務は適宜行います。 不定期に他科再建手術があります。 当直はありません。	

泌尿器科

小児から高齢者まで、QOLを重視した治療を実践します

高齢者人口の急速な増加に伴い、前立腺癌をはじめとする尿路性器悪性腫瘍や尿失禁などの排尿障害患者の増加が顕著となりつつあり、泌尿器科領域の研修は専門医を目指す医師のみならずプライマリ・ケアや他科をめざす医師にとってもますます重要となっています。当科は尿路性器悪性腫瘍、腎不全、男性不妊症・小児泌尿器科を3本柱とし、地域医療を担う泌尿器科医の養成はもちろん臨床の素朴な疑問に根差したbed side-orientedな基礎研究も精力的におこない、世界に情報発信できる若手医師の育成を主眼に置いています。

＜研修目標＞

当科プログラムの目的は将来どのような診療科に進むにも、日常診療において遭遇する泌尿器科的疾患や病態に適切に対応できるような基本的な泌尿器科の臨床能力(態度、技能、知識)を身につけることです。また将来、泌尿器科専門医を目指す研修医は必要な専門的臨床能力はもちろん、泌尿器科専門医にとって重要な考え方なども修得します。



先輩の声

平成31年卒 松下 広憲

腎泌尿生殖器の疾患は診断から治療、その後まで患者さんをみれることが多く、その奥深さややりがいを感じています。問診、尿検査や超音波検査から始まり、手術や化学療法、薬物治療等へつなげていく魅力的な診療科です。ロボット手術も常に進化を続けています。医局全体の雰囲気も良く、チームで相談しながら診療を行なっています。ぜひ当科に見学、研修にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	病棟診療 外来補助 検査
Tue	抄読会、ビデオカンファレンス 手術、病棟診療、外来補助、検査 手術カンファレンス
Wed	入退院カンファレンス 病棟教授週診 病棟診療、外来補助、検査
Thu	手術、病棟診療、外来補助、検査 Drug information カンファレンス
Fri	手術、病棟診療 外来補助 検査

当直業務はありません。

眼科

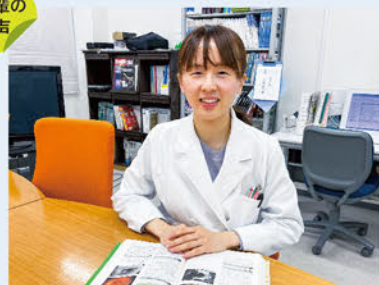
山口大眼科で眼のSpecialistを目指す！

外界から受け取る情報のうち、80％は視覚情報と言われています。眼疾患を患っている患者さんは、質の高い生活が送れません。より多くの患者さんに良好な視機能を届け、幸せな生活を送っていただけるよう、私たちは高い志を持ち日々の診療や研究に励んでいます。眼科は、診断から治療(内科的治療、外科的治療)まで、自科で完結できる数少ない科の一つです。ぜひ研修期間で眼科を選択し、将来眼科医となって一緒に仕事をしましょう。

＜研修目標＞

当科の研修では眼科プライマリケアに欠かせない疾患を中心に、診断や治療効果の判断に必要な眼科の基本検査と診察・治療に必要な手技を習得することを目標としています。また、全身疾患に関連した眼疾患や眼科の救急疾患についても適切に対応できるよう研修を行います。手術室での研修も多く取り入れ、眼科手術で特徴的なマイクロサージェリーを習得できるように指導します。

先輩の声



平成31年卒 竹中 優嘉

眼球は24mm程度と小さいながらも精密で複雑な、大変魅力的な臓器です。眼球以外にも眼瞼や眼窩、涙道疾患など多岐に渡り、新生児から高齢者まで、QOLに深く関わる診療科の一つです。是非眼科の研修を選択して眼の美しさに触れてください！

1週間のスケジュール

Mon	手術 病棟診療
Tue	教授外来 回診 カンファレンス
Wed	外来診療 検査又は手術
Thu	外来診療 検査
Fri	外来診療 検査又は手術

当直業務はありません。

耳鼻咽喉科

厳しく学び、楽しめる教室を目指します

当院耳鼻咽喉科は、内耳・中耳を扱う感覚器外科学、鼻科手術、頭頸部癌手術、睡眠時無呼吸に対する治療、音声・嚥下障害に対する治療も全国的に注目される存在です。このように、各専門分野で大きく発展した根底には、当講座の理念である、「嫌いなことは無理強いしない。好きなことを自由にやらせてモチベーションを高く維持して業績を出す。」という方針が功を奏しているものと考えています。

＜研修目標＞

耳鼻咽喉科内の各グループをローテートすることで、全般的な耳鼻咽喉科診療に従事できる知識と技能を修得することを目標とします。さらに、自分で考えて問題点を発見して自分で解決する姿勢を重要と考え、そのような思考・行動がとれる能力を身につけるための研修をします。

先輩の声



平成28年卒 坂本 めい

子どもとも大人とも関わりたい、外科的治療も内科的治療もやりたいという気持ちで耳鼻咽喉科に入局を決めました。先天性難聴など小児、アレルギー性鼻炎など同年代、嚥下治療など高齢の方と幅広い患者さんと関わることができています。治療の専門性も、いわゆる「ロング」と呼ばれる悪性腫瘍手術や、日帰りで音声改善のための手術をおこなったり、外来でめまいの眼振などから原因を推定したりなどと多岐にわたります。耳鼻咽喉科に興味がある方はもちろん、興味の方向性が絞られないという方も、ぜひ当科に見学、研修にいらしてください！

1週間のスケジュール

Mon	モーニングカンファレンス 病棟処置又は外来診療
Tue	手術又は外来診療
Wed	モーニングカンファレンス 手術又は外来診療
Thu	手術又は外来診療
Fri	モーニングカンファレンス 病棟処置又は外来診療

当直業務の義務はありません。
土日の病棟業務は指導医と共に行います。

放射線科

最先端の画像診断からIVRによる低侵襲治療まで

画像診断：研修医みなさんの希望に応じて、Generalな急性期の画像診断を広く研鑽したり、頭部・胸部・腹部・骨軟部などの専門に特化した画像診断を修得したりするなど、いろいろな選択肢があります。

Interventional Radiology (IVR)：診断から治療、血管系から非血管系IVRまで幅広く行っており、希望者は助手(症例によっては術者)として参加できます。

放射線科の紹介動画も公開しています。見てね！

「放射線科の一日」(<https://youtu.be/ampSbFdffdM>)

＜研修目標＞

①胸部単純X線写真、CT、MRIなど、どの専門分野に進んでも必要な画像診断を身につける。②当直で必要な急性期疾患の診断ができる。③診断から治療に至るまでの考え方を習得する。

先輩の声



平成31年卒 井上 敦夫

現代の医療では多くの分野で画像診断が必要不可欠であり、放射線科では読影を通じて全身の様々な疾患を経験することができます。また、当科ではIVRにも積極的に取り組んでおり、若いうちから多くの症例を経験することができます。私自身も初期研修で放射線科をローテートした際にIVRの魅力や奥深さに感銘を受け入局を決めました。皆さんもぜひ見学・研修にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	画像診断
Tue	画像診断、IVR
Wed	IVR、カンファレンス
Thu	画像診断
Fri	画像診断、カンファレンス

当直業務はありません。

放射線治療科

最先端のがん治療を担う人材に

放射線治療を専門として独立した、新しい診療科です。放射線治療は手術療法、化学療法とともに、がん治療の3本柱の一つです。最先端の「低侵襲治療」として、需要はますます増加しています。当科では定位放射線治療や強度変調放射線治療(IMRT)など、痛みや副作用の少ない先進的な治療に取り組んでいます。

＜研修目標＞

どの専門分野に進もうとも、悪性疾患を対象とする限り放射線治療に関する基礎知識は必要です。放射線治療を少しでも勉強しておくことは、今後のみなさんにとって非常に有益です。治療の適応判断から治療計画の方法、治療後の経過などを総合的に理解できるよう研修を行います。

先輩の声



平成27年卒 梶間 未葵

放射線治療医は、放射線治療の専門医であると共に、がん全般の広い知識を持ち各科と連携して診療を行います。放射線治療としても根治から緩和まで治療介入すべきところは多く、治療期間中だけでなく治療後も患者さんと関わっていきます。若手医師も増えてきていますので、ぜひ一度当科に来てください！

1週間のスケジュール

Mon	チームカンファ、外来(新患) Cancer Board(頭頸部) 症例検討会
Tue	チームカンファ 外来(経過観察) 放射線治療計画
Wed	チームカンファ、外来(新患) Cancer Board (胸部、泌尿器)
Thu	チームカンファ 外来(経過観察) 放射線治療計画
Fri	チームカンファ、外来(新患) RALS(婦人科がん)

当直業務はありません。

産科婦人科

私たちはいつも女性の幸せを考えています

産科婦人科領域(周産期分野、婦人科悪性腫瘍分野、不妊・生殖内分泌分野、女性ヘルスケア分野)における地域の基幹病院として一般的な診療だけでなく高度な医療を提供し、さらには高度な医療を担う世界レベルの基礎研究を推進しています。

＜研修目標＞

基本的な産婦人科診察法、検査法(超音波検査、細胞診、病理組織検査、骨盤部CT・MRIなど)、治療法(内科的治療及び外科的治療)を習得することができます。正常分娩はもちろん産科及び婦人科の救急患者の対応を学び、各種手術の助手を行いながら修練を積みます。非侵襲的な検査法である超音波検査も実際に多くの症例に対し行うように指導しています。基本的にはマンツーマン指導を行っていますが、実際には症例の偏りなども考慮して、各グループのいろいろな先生と一緒に症例を担当します。

先輩の声



平成29年卒 中村 真由子

産婦人科は周産期分野、生殖内分泌分野、婦人科腫瘍分野、女性ヘルスケア分野と幅広く診療ができる科です。特に周産期分野では、赤ちゃんが生まれてくる瞬間の感動をお母さんと共有することができる唯一の分野であり、非常に大きな充実感があります。また手術も多岐に渡りますが、上級医の指導の元で早期から多くを経験させていただいています。是非、一緒に充実した研修生活を送りましょう！

1週間のスケジュール

Mon	手術
Tue	外来 回診カンファレンス
Wed	手術
Thu	外来 手術
Fri	外来 カンファレンス

当直は週1回程度、指導医と共に行います。

麻酔科蘇生科（麻酔科蘇生科、ペインクリニック）

基本的な手技が学べる麻酔科研修

年間4500例の麻酔管理症例を通じて、気管挿管、静脈ルート確保、動脈採血、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保など医師として身につけておきたい手技を、指導医の指導のもと濃密に修練することができます。もちろん大学病院では充実したシミュレーター設備を駆使して事前に指導します。また麻酔管理は、全身状態の把握、循環・呼吸管理、注射薬への精通につながり、全身管理の基礎を修得できると思います。

＜研修目標＞

麻酔の実際の理解、患者の全身評価と術中管理（麻酔管理、呼吸・循環管理、注射薬の投与）と術後管理（手術侵襲に対する全身制御や疼痛管理）、そして基本的手技の習得です。また、危機管理能力の習得を目指します。



先輩の
声 平成28年度卒 河野 瑠美

大学病院は先輩医師が多いので、色々な手技や麻酔管理のコツを教えてもらう機会が多いです。市中病院では行っていない最先端手術の麻酔管理も経験できます。また病院実習で回ってきた学生のレポート指導を行うので自分自身の勉強にもなります。定期的に学生との懇親会もあるので楽しいです。

1週間のスケジュール

Mon	手術麻酔
Tue	手術麻酔
Wed	手術麻酔
Thu	手術麻酔
Fri	手術麻酔
2週間に1回程度、指導医と共に集中治療室の当直業務があります。	

脳神経外科

外科医の目と技を持ち、神経系疾患の総合医療を行います

脳神経外科は、外科医の目と技を持ち、神経系疾患の総合医療を行う医師です。専門医の役割は外科治療だけでなく、予防医学・診断・薬物/放射線治療・リハビリテーション・救急医療等、診療に関する全ての内容を含みます。

＜研修目標＞

初期研修での目標は脳卒中及び頭部外傷患者の初期対応の経験をたくさん積むことだと考えています。これらの患者さんの多くは内科的治療やカテーテル治療・外科的治療などを瞬時に判断し行う必要があり、時間との勝負であることも多く、知識はもとより経験もいるためとにかく現場で学んで欲しいと考えています。



先輩の
声 令和3年卒 実近 涼夏

脳・脊髄・神経に対し手術主体で治療する外科ですが、長期の入院管理や疾患予防の治療、復帰に至るまでのケアを考えると内科的な要素の重要性も併せ持つ診療科です。なかでも脳梗塞はこの先必ず遭遇する疾患であり他科に進む研修医にこそ診療のスピード感を研修中にみて頂きたいです。また大学病院には症例も集まり小児疾患や機能神経手術など希少な症例も経験できるため、短期間でも濃い研修ができる点は大きな魅力です。ぜひ研修を検討してみてください。待ってます。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス 手術日（脳腫瘍）
Tue	症例カンファレンス 教授回診
Wed	症例カンファレンス 手術日（脳血管障害）
Thu	症例カンファレンス
Fri	症例カンファレンス 手術日（機能、てんかん）
予定の検査、手術に加え急患対応が主な業務です。当直業務はありません。	

先進救急医療センター

重症患者への全人的医療の実践

当科は3次救命救急センターとして様々な領域にわたる重症患者を全県から年間1300件を超えて受け入れています。疾患によっては他診療科とも協力しながら対応します。対応する症例は多岐にわたり、臨床研修において必要かつ十分な症例を経験できます。教育熱心な指導医のもと診療に参加し、初期診療から全身管理まで一貫した救命救急医療の研修を行っています。

＜研修目標＞

。救急患者に対する初期診療の基本的な考え方を身につけて実践できる
。集中治療を要する患者における全身管理の基本的な考え方を身につけて実践できる
。様々なスタッフと適切なコミュニケーションをとり協同して診療を行うことができる



先輩の
声 平成30年卒 原田 佳代子

近隣病院から外傷や中毒、敗血症などの重症症例が集まるため、全身管理の基本を学ぶことができます。また、ドクターヘリやドクターカーで搬送された患者を含む救急患者の初期診療の考え方も同時に学べます。他科の先生方と協力しながら診療を行う機会も多く、経験できる症例は幅広いです。学んだことはきっと将来の役に立つはず。ぜひ一度研修に来られてください。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス 入院患者診療
Tue	症例カンファレンス 入院患者診療
Wed	症例カンファレンス 教授回診 クリニカルカンファレンス
Thu	症例カンファレンス 入院患者診療
Fri	症例カンファレンス 入院患者診療
急患対応は指導医と共に対応。2交代制で希望により当直可。	

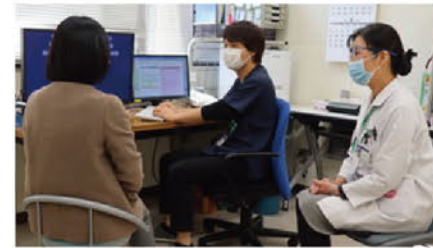
総合診療部

診断学の基本アプローチを学ぶ

「鑑別診断を多く挙げられるのに、臨床現場で診断をつけることができない」この経験をまず体験することから診断学は始まります。正確な診断をつけるには、症状から疾患を想起する力、患者さんから上手に情報を引き出す医療面接の力、情報をカルテにまとめる書く力、大量の情報の中から何が診断するために重要な情報であるかを推論する力、指導医にプレゼンする力が必要となります。これらの能力は、研修医になるための基本的臨床能力。総合診療部での実習期間中は、これらの能力を体系立てて養います。

＜研修目標＞

①外来研修、症例カンファレンスを通じて病歴・身体所見から適切な診断プロセス（問題リストの立て方、鑑別診断の挙げ方）が行えるようになる。
②外来研修、症例カンファレンスを通じて適切な治療方法を決定することができる。
③臨床の疑問を自ら見つけ出すことができ、それを解決する生涯学習の手段を得ることができる。



先輩の
声 指導医 黒川 典枝

皆さんは、初診外来を担当し、医療面接から診察、さらに診断・治療までを丁寧に行なった経験がありますか？診断の難しい症例に、どうアプローチしていきますか？そこから生まれた疑問をどうやって解決していきますか？こうした臨床医の体力ともいべき「基本的な能力」をじっくり育みたいと考える研修医を歓迎いたします。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス
Tue	初診外来 診療振り返り
Wed	初診外来 診療振り返り
Thu	初診外来 診療振り返り
Fri	自己研鑽
当直業務はありません。	

病理診断科

正確な病理診断により診療に貢献

病理医は手術検体や迅速検体の切り出しを行い、出来上がった標本を鏡検し、病理診断書を作製します。病理診断は多数の疾患で最終診断となります。そのため病理診断には重い責任が伴います。病理診断科では全身の様々な疾患について接し学ぶ機会が得られ、その診断を自らが行うことにより、疾患についての深い理解が得られます。

＜研修目標＞

2年次2ヶ月以上の研修により、外科病理学の基本的知識、技術を習得します。将来病理医を志す者は、研修により病理診断学の基礎を習得するとともに、継続して病理診断科あるいは基盤系病理学講座で病理診断学、病理解剖学を学ぶことにより、死体解剖資格の取得が可能であり、病理専門医及び日本臨床細胞学会細胞診指導医の受験資格を得ることができます。



先輩の
声 指導医 星井 嘉信

病理医は全国的に不足しており、このままではいずれ医療全体にも影響が及ぶことが予想され、病理診断科希望者は大変貴重な存在です。本学病理診断科では幅広く様々な症例を経験することが可能です。まずは病理診断科で研修をしてみませんか？歓迎します。

1週間のスケジュール

Mon	指導医とのディスカッション 日常業務（病理標本の鏡検、術中迅速診断、手術材料の切り出しなど）
Tue	日常業務
Wed	指導医とのディスカッション 日常業務
Thu	日常業務
Fri	日常業務
病理解剖・剖検会・病院CPCに参加します。当直業務はありません。	

専任教員からのコメント

研修医一人一人の希望を叶える最高の研修プログラムで、充実した研修医ライフを！

センター専任教員 宮崎 睦子



はじめまして、医療人育成センターの専任教員の宮崎です。平成13年に山口大学を卒業し第三内科（血液・糖尿病・内分泌）入局、平成26年4月から医療人育成センターに配属となり、臨床研修や専門研修をコーディネートする立場として携わっています。

山口大学の研修の良さは、何と言っても大学と市中病院との「たすき掛け」プログラムです。固定したスケジュールのプログラムが多い中、研修病院の選択肢も多く、幅広い診療科から研修科と研修期間を選ぶことが出来るプログラムは山大ならではです。どの施設でどの科の研修をしたいか、皆さんの希望を出来る限り叶えます！2年間の研修が終わったときには、市中病院で1-2次救急やプライマリ・ケア研修で基本的な診療力を、大学病院で高い専門性と思考力が身についたことを実感できるはずです。

そして、研修のことや進路のこと等、皆さんが悩んだり困ったりしたときには私たちスタッフが一丸となってサポートしますので、ぜひ一緒に山口大学で働きましょう！

研修環境をサポートする施設・設備

研修医ルーム

自習や休憩、情報交換の場として快適に活用できるよう、メールボックスとモバイルワゴンを備えた個人ロッカーと共有机を完備し、病院情報システム(電子カルテ)端末、共用パソコンを設置しています。院内LANを使用してProcedures Consultなどを利用することも可能です。更衣室・当直室も備えています。また、専任教員室、事務室が近くにあり、些細なことでも気軽に相談できます。



研修医ルーム1

研修医ルーム2

クリニカルスキルアップセンター

基本的診察技術や高度な医療技術を自主的に練習できるよう、さまざまな最新の学習機材を備えた施設です。



当直室



図書館



ホスピタルカフェ



LAWSON山大病院店

地域医療教育研修センター(白翔館)

充実した研修生活を支援するために、研修医の専用施設として、平成24年春に完成しました。研修医が入居できる研修生自習室(50室)に加えて、共用施設として研修室、図書ミーティング室、談話室を備えており、管理人がセンターの利用をサポートします。本院からも徒歩3分と恵まれた立地条件です。

＜研修医の声＞

病院が近く、費用も安いのが魅力的!内装もきれいで住みやすい!

＜設備＞

照明、洗面台・洗濯機パン、独立型ユニットバス、ウォシュレット便座、ミニキッチン(IHヒーター)、ウォークインクローゼット、エアコン、モニター付インターフォン、カーテン、室内物干し支柱、テレビ端子、ネット接続口

＜使用料等＞

使用料	山口大学に勤務する研修医(山口大学職員)	0円/月
管理料	研修生自習室A	5,000円/月
	研修生自習室B 家具付き	8,000円/月
駐車料		1,000円/月

※自習室の光熱水料は、使用者の個別契約となります。
※研修生自習室B(家具付き)には、ベッド、デスク、イス、デスクライト、2ドア冷蔵庫、電子レンジ、全自動洗濯機、26インチテレビを備えています。



自習室



談話室

随時見学できます!

見学に係る旅費を負担します。

是非、気軽に来てください!



ヤマミイ(Yama-Me)

山口大学のシンボルマークの形とカラーリングをイメージした、「自由さ」「好奇心」「柔軟性」を持ったネコをモチーフとして作成されたキャラクターです。

山口大学医学部附属病院 病院見学について

対象

医学生、研修医

申込方法

見学を希望する日(土日祝日を除く)の14日前までに、ホームページの申込フォームをご利用ください。
※見学希望の診療科と日程を調整し、後日詳細をご連絡します。

お問い合わせ

医学部総務課育成支援係(研修医・専門医支援部門)

〈TEL〉0836-22-2129 〈Mail〉me209@yamaguchi-u.ac.jp

〈HP〉山口大学医学部附属病院医療人育成センター

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cdc/>



＜勤務時間や給料等の待遇について＞

●勤務時間 8時30分～17時15分

●給与

約38万円/月(予定)
※臨床研修手当14万円を含みます。
※協力病院での研修期間は、研修先の処遇となります。

●諸手当

住居手当、通勤手当(通勤距離2キロ以上の場合)

●保険

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

●医師賠償責任保険

病院として加入
(個人加入分についても臨床研修期間中は大学負担)

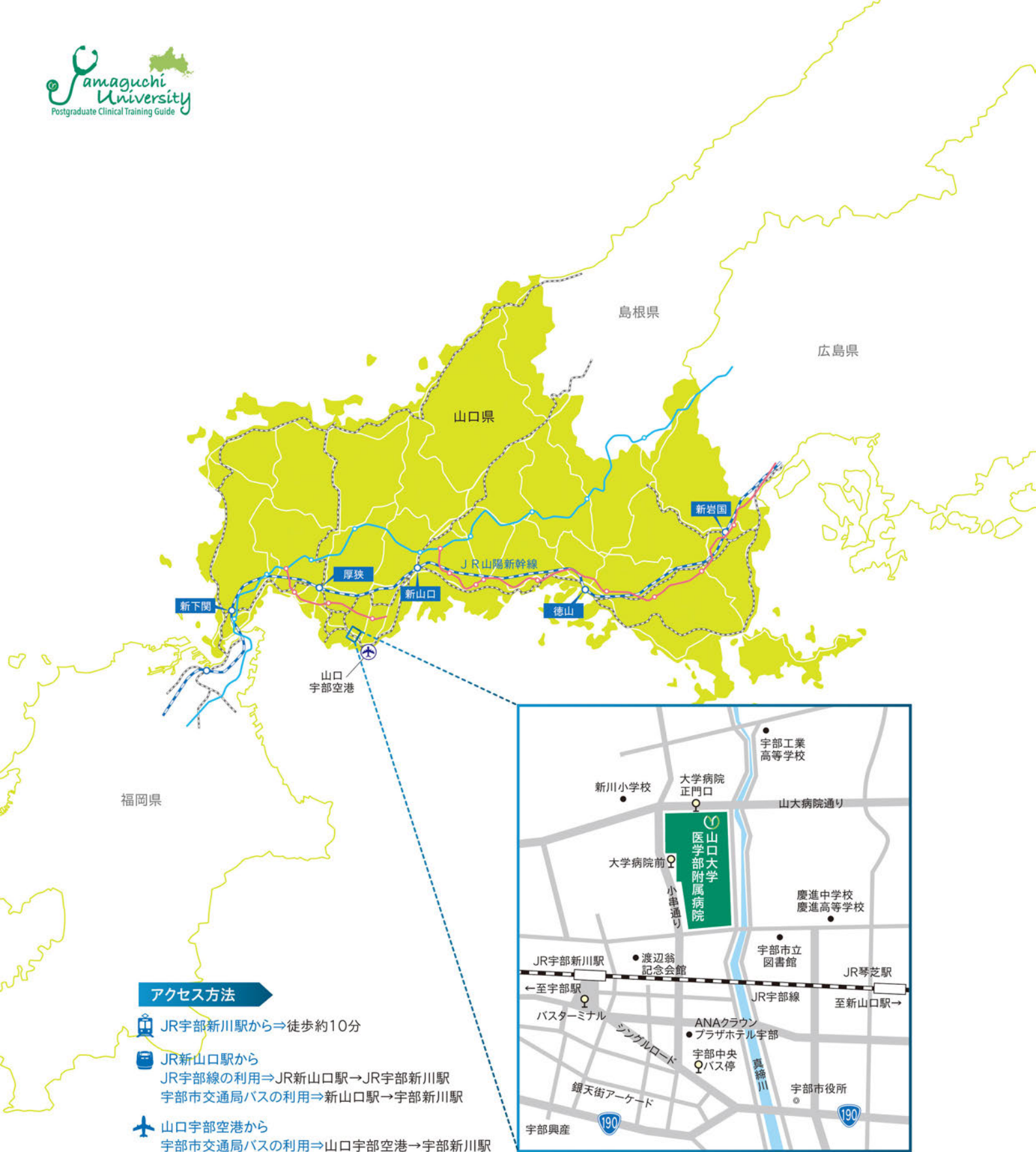
●宿舎

地域医療教育研修センター(白翔館)

●学会参加

可(学会参加のための旅費支援あり)

●山口大学医師会の会費無料



山口大学医学部附属病院 医療人育成センター

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 【TEL】0836-22-2129 【E-mail】me209@yamaguchi-u.ac.jp

Q 医療人育成センター

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cdc/>

